

## 8. 地方からの便り

### 少年消防クラブ員による県消防学校一日入校

愛知県 愛知県少年婦人防火委員会

7月25日(月)、27日(水)の午前10時から愛知県消防学校において、「少年消防クラブ消防学校一日入校」が開催されました。2日間で県内の尾張旭市や春日井市、豊橋市等の少年消防クラブ員ら1,724名が参加し、消防活動の大切さを学びました。

少年消防クラブ員達は愛知県消防学校の初任科生たちに教わりながら、人工呼吸、心臓マッサージなどの救急体験や、消防車からホースを引いての放水訓練、消防車試乗、地震体験、煙道体験などを行いました。

地震再現の体験をしたクラブ員は「震度7がこんなに揺れるなんて。本当の地震が来たら怖くてパニックになりそう」と話していました。

少年消防クラブ員が実際に各種訓練（放水訓練、地震訓練、煙道訓練等）を体験するため、講義形式の場合に比べて、より強い興味をもって、火災予防等について学ぶことができ、また、県内各地の少年消防クラブが参加するため、クラブ及びクラブ員間の情報収集、親睦を図ることができました。



## 伊賀南部少年消防クラブ合宿訓練

三重県 伊賀南部幼年少年婦人防火委員会



管内の小学校4年生から6年生の少年少女で組織する伊賀南部少年消防クラブが8月4日・5日の1泊2日の日程で三重県消防学校において合宿訓練を実施しました。最初は間近で見る消防車に興味気味だったクラブ員達も、訓練が始まると一転し真剣な表情で取り組んでいました。1日目は消防車の体験乗車、放水訓練、AFT（消火訓練装置）を使用しての消火訓練、救助訓練、プール水泳、夕食の後には打上花火といったスケジュール。点呼を受け、消灯の後はさすがに疲れたようぐっすりと眠っていました。2日目は6時15分に起床し、消防体操にランニング、寮内の清掃の後はしっかり朝食を取り、訓練開始。迷路避難体験、消火器を使った消火訓練、救助袋での避難体験、その後、感想文にそれぞれの想いを綴りました。

自分の食器は自分で片付け、自分の布団は自分で畳む。「自分のことは自分で」する。訓練をやり遂げるためには「互いに助け合い、協力し合う」。そうした集団生活の中でクラブ員達は規律や節度を身に付け、閉校式を迎える時には少し凛々しく感じられました。また、感想文の中の「消防車に乗れてよかった。」「違う学校の友達ができた。」「参加してよかった。来年もまた来たい。」そんな言葉に、指導に同行した指導者・事務局の疲れも吹き飛んでしまいました。



## もしもに備えて

福岡県 八女消防本部

八女消防本部では、8月28日、矢部村の矢部村民グラウンド一帯において、第5回八女地区総合防災訓練を実施しました。

大雨が降り続く中、直下型の地震が発生し、家屋倒壊、地盤沈下、道路の寸断、火災などの被害が発生したという想定で、管内の住民や防災機関など約750名が参加しそれぞれ訓練を行いました。

この訓練は2年に1回実施しているものだが、今回初めてN



BCテロ災害の訓練を実施しました。

土砂や風倒木に埋没した車両に2名の要救助者が閉じ込められているため、特別救助隊が出動、救助活動中に不審な煙が発生し要救助者のレベル低下を認めたという想定で行い、自衛隊の化学防護隊が出動し、物質の特定を行うとともに、化学防護服を着装した救助隊により要救助者を救出、除染を行った後、救急隊によりドクターヘリに引き継ぐという各防災機関の連携を深めることができました。

いつどこで発生するか分からない災害に備え、関係者一同真剣に取り組んでいました。

▲このページの上に戻る

## 三国町少年防火クラブ夏期練成大会

福井県 三国町消防本部



写真提供：(株)日刊県民福井

夏休みも終わりに近づいた8月29日、三国町少年防火クラブ夏期練成大会が当町にある浜地芝政ワールド内にて行われました。

当町内の5つの学校から、5年生の少年防火クラブ員200人が参加し、四つのグループに分かれ、初期消火、救急、救助、地震に対して正しい知識を持ってもらう意味で、防火教室を開催し初期消火では、消火器の取り扱い訓練、及び放水銃による放水体験。救急では実技を取り入れた〇×クイズでの応急処置訓練、救助ではロープによる結索訓練、地震では起震車による震度7の揺れを実際に体感する等の訓練を行い、午後から

はプールにて水泳訓練を行いました。

クラブ員にとっては、最後の夏休み期間中の一日でありましたが、貴重な防火知識を吸収して有意義な一日を過ごしたことと思います。



消火器の取り扱い訓練



放水訓練



起震車による地震体験



水泳訓練

## 2つの幼年消防クラブが発足!

熊本県 天草広域連合消防本部

### 1 ひがしまち保育園幼年消防クラブ（熊本県本渡市）

平成17年7月28日、本渡市の東町保育園において、ひがしまち保育園幼年消防クラブが発足しました。

園長先生や防火委員会会長の挨拶にちびっこクラブ員28名は、最初は何事が起こるのだろうかかと緊張気味でしたが、消防署員による腹話術人形「消太くん」との腹話術が始まったころにはいつもの笑顔に戻り、小さな体に大きな法被がとてもかわいく、また、頼もしく映っていました。



### 2 大矢崎オレンジ幼年消防クラブ（熊本県本渡市）

平成17年9月12日、本渡市にある大矢崎保育園において大矢崎オレンジ幼年消防クラブの発足式が行われました。

発足式は、保育園関係者及び消防関係者臨席の中、31名のクラブ員がハッピーを着用し、これから何が起こるのだろうかと緊張の様子で始まり、園長先生が「大矢崎オレンジレンジャーとして頑張ってください。」と挨拶をされました。また、発足式の最後に、クラブ員全員で「ぼうかのちかい」を大きな声で発表しました。

式典が終わると、グラウンドに出てミニ消防車への体験乗車があり、さっそくチビッコ消防隊員として乗車していました。



## 第18回 少年消防クラブ員研修会

島根県 雲南消防本部

雲南消防本部並びに雲南防火委員会（会長 小林敏雄 雲南消防本部消防長）では、少年期における防火教育の一環として、クラブ員と消防職員、また、クラブ員同士のふれ合いにより消防への理解と関心を深め、集団行動を通して力を合わせることの素晴らしさや大切さ、人に迷惑をかけないといった社会性、協調性を養うことを目的とした「第18回 少年消防クラブ員研修会」を実施しました。

研修会は、雲南消防署で7月28日に開催し、152名のクラブ員の参加者がありました。

研修内容は、昼食用のカレーライス作りからスタートし、水消火器を使用した消火訓練、バケツリレーによる消火競争、消火栓を使用しての放水体験や救急法、起震車による地震体験を行いました。

参加したクラブ員は、他の小学校の児童や、消防職員と楽しく過ごし、消防への関心を高め、お昼ご飯に、自分たちで作ったカレーライスを食べ、16時過ぎには修了証と参加記念品を手に、消防署を後にしました。



開会式の様子



消防訓練の様子



救助訓練体験の様子



修了証の交付

---

[▲ このページの上に戻る](#)

## 目次

- [1. 総務省消防庁の組織改正について](#)
- [2. 平成16年版救急・救助の概要（速報）](#)
- [3. 自主防災組織教育指導者に対するあり方に関する調査研究委員会（第2回）](#)
- [4. 災害情報（宮城県沖地震・台風14号と豪雨による被害）](#)
- [5. 新住宅防火対策の推進に関する調査研究会](#)
- [6. 平成17年度婦人防火クラブ連絡協議会幹部地域研修会（関東地区・近畿地区）](#)
- [7. 消防殉職者慰霊祭の実施](#)
8. 地方からの便り
- [9. あなたも危険物取扱者・消防設備士](#)
- [10. 日本防火協会からのお知らせ](#)